

養牛カメラの 5 大特長

特長 1 牛の映像を遠隔地から確認できます。

養牛カメラは牛の分娩などの様子を遠隔から確認出来る監視カメラシステムです。無線LANインターネットで構成されているため牛舎の状態を離れた自宅や、事務所から映像で確認することができます。



特長 2 映像を録画できます。

様子がおかしいと思ったときや、「産後処理をしたか」「子牛が初乳を飲んだか」など、大事な場面を見逃した時など、気づいた時点から遡って牛舎の様子を確認できます。もちろん、発情の発見にも役立ちます。

特長 3 夜中でも照明を点けることができます。

夜でも、携帯電話や自宅のパソコンから付属の照明を点灯・消灯することができます。夜でも安心して分娩を見守ることができます。

※養牛カメラベーシックはオプションの照明制御ユニットが必要です。

特長 4 設置も簡単で、過酷な環境でも故障知らずです。

機密性の高い保護ボックスでほこりや衝撃から本体を守り、気温が35度以上になると自動的にファンが回りますので養牛カメラをいつも万全な状態に保ちます。

※自動ファンはスタンダードのみの装備となります。

特長 5 映像と音声はスマートフォン・パソコン・テレビでチェック

パソコン・スマートフォンからは牛舎の状況を動画と音声で携帯電話からは静止画で確認することができます。

※フルブラウザ機能を搭載した携帯電話からは動画をみることができます。

またブラウザ機能搭載のデジタル対応テレビなら、テレビ番組を見ながら分娩の確認が可能です。



※別売TVアダプターを使えばインターネット機能がないテレビでもカメラ映像が見られます。

販売代理店

開発元・問い合わせ先

株式会社 **ネットカメラ**

〒718-0003 岡山県新見市高尾 2287
Tel.0867-78-1050 Fax.0867-78-1051
ホームページ <http://net-camera.jp>
E-mail info@net-camera.jp

養牛カメラ

養牛カメラは岡山県新見市が推進する「千屋牛パワーアッププロジェクト事業」の中で養牛農家専用開発しました。

愛情見聞録 [畜産シリーズ]

養牛カメラ

よう ぎゅう <http://net-camera.jp/>

養牛農家専用開発しました。



養牛カメラで検索!



株式会社 **ネットカメラ**

業務用

養牛カメラは用途に合わせお選びいただけます。



ドーム型

1台のカメラで広範囲を見渡せます

1台のカメラで2.0~2.5mの範囲を見ることが出来、ズーム(42倍)で目標を読み取ることが出来ます。ただし柱などの障害物がある場合は取り付け位置を工夫したり台数を増やす必要がある場合があります。

360° 鮮明な映像で牛舎の確認

レンズを360°動かすことが出来るため、障害物がない限りあらゆる角度から牛の確認が出来ます。



ドーム型プロ

肥育・乳牛に対応!

超高倍率ズームと暗視機能をそなえたプロ仕様です。

ドーム型の基本機能に加え、超高倍率220倍のズーム機能と照明を点けることなく暗闇でもクッキリ鮮明に見える暗視機能をそなえています。

暗闇でもクッキリ鮮明

ホルスタインの夜間の発情、出荷前の肥育牛などデリケートな時期にも牛に負担をかけずに夜間の見守りが出来ます。



※プロはADSL・光回線またはLTEでのご利用に限ります。地域によってはLTEでもご利用できない場合があります。

スタンダード

発売以来のベストセラー機です。基本機能、高い信頼性をそなえています。適用範囲が広くこれまで多くの導入実績があります。



※照明制御はオプションです。

ベーシック

取付簡単!

手軽に導入出来るベーシックタイプをご用意しました。飼養頭数20頭未満の方に最適です。



無線LANタイプ

- ・農場内で使用する場合、導入後のコストは電気代のみ。
 - ・最初の一不移行、カメラの台数を増やす事が可能。
- ※牛舎と自宅の距離、障害物によって設置が難しい場合があります。
※設置には専門的知識が必要となります。

通信カードタイプ

- ・専門知識が無くても設置が可能。
- ・通信カードの通信料が必要。

各機種に2つの通信タイプがあります。

オプション

- ・照明
- ・赤外線照明
- ・スタンダード、ベーシック用取付ブラケット
- ・ドーム用取付ブラケット。
- ・TVアダプター

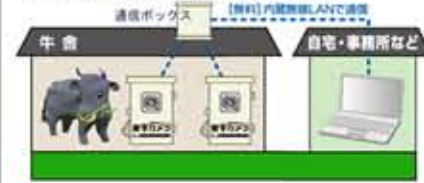
機種別適応表

	和牛繁殖		肥育	酪農	台数増設
	分娩室2以下	分娩室3以上			
ベーシック	◎	—	—	—	—
スタンダード	◎	◎	○	○	○
ドーム	○	◎	◎	◎	○
ドームプロ	○	◎	◎	◎	○

自宅事務所だけから見たい場合

システム No.1

牛舎と自宅または事務所が50m以内の場合



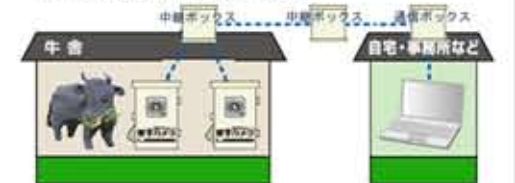
システム No.2

牛舎と自宅または事務所が100m以内の場合



システム No.3

牛舎と事務所の距離が数kmの場合



外出先からも見たい場合 (牛舎と自宅を無線LANでつなく)

システム No.4

牛舎と自宅または事務所が50m以内の場合



システム No.5

牛舎と自宅または事務所が50m以上100m以内の場合



システム No.6

牛舎と事務所の距離が数kmの場合



外出先からも見たい場合 (牛舎から通信カードでインターネットに)

システム No.7-1

■使用機種
養牛カメラ通信カードタイプ
養牛カメラを1台使用で牛舎に携帯電話のアンテナが3本立っている場合。本体のみでご利用できます。



システム No.7-2

■使用機種
養牛カメラ無線LANタイプ
通信ボックス
養牛カメラを1台使用で牛舎に携帯電話のアンテナが3本立たない場合。本体と通信ボックスが必要です。



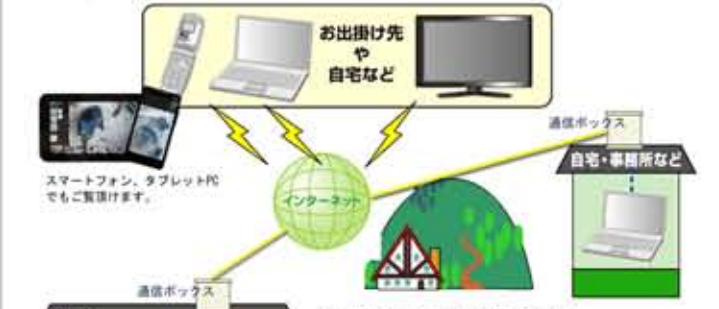
システム No.7-3

■使用機種
養牛カメラ無線LANタイプ
通信ボックス
養牛カメラを2台以上使用の場合。本体と通信ボックスが必要です。



外出先からも見たい場合 (牛舎インターネットがある場合)

システム No.8



牛舎にインターネットがある場合。図の例では自宅または事務所が離れている場合です。牛舎と自宅または事務所が無線LANで繋がっている場合は、牛舎と自宅または事務所を無線LANで結ぶことも出来ます。

取付例

カメラは出来るだけ窓側に設置して下さい。窓に向かって設置すると逆光になり見えにくい場合があります。

通路側に取り付ける場合は作業車が通った時にぶつからない位置に取り付けて下さい。

ドーム型例



天井や梁から吊り下げように取り付けるので柱などの障害物がなければ360度見渡せます。

例1 通路



外側(窓側)
牛舎1と2を均等に観察することが出来、死角もほとんど発生しません。

例2 通路



外側(窓側)
牛舎1の牛が良く見えます。牛舎の仕切りの構造や材質により牛舎2のカメラに近い側が死角になる事があります。